

『精神障害を抱えている人たちの生活について語り合おう』

今回は当事者とそのご家族、支援者に加え、東備保健所や赤磐市役所健康増進課の保健師も参加し、25名の様々な立場の方と語り合いました。赤磐市障害者自立支援協議会(ピーチネットあかいわ)の目的や大切にしたいことを共有し自己紹介の後、ともに あかいわ訪問看護ステーション管理者の安留順子氏より話題提供があり、精神障害を抱えている人たちの生活について語り合う場をもちました。



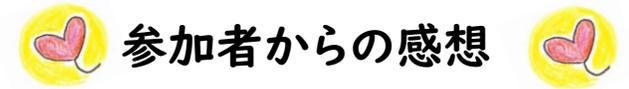
ともにあかいわ
訪問看護ステーション
安留 順子氏

訪問看護の現状を事例を交えて紹介いただきました。



語り合った内容

- (1) 意思決定支援の難しさ
- (2) 相談支援についての情報提供と充実
- (3) 地域支援の充実
- (4) 継続支援の充実
- (5) 家族支援の充実
- (6) 精神科病院の不足
- (7) 交通の不便さ
- (8) 福祉サービスへの橋渡し
- (9) 情報共有の充実
- (10) 情報発信の工夫
- (11) つながる場、居場所の不足
- (12) 精神障害への理解
- (13) 願い



○当事者としての意見を言えてよかった。
○様々な立場の方からの話がきけて、学びになったり、頑張ろうと思えることができました。地域での支援者や様々な取り組みをされている方がおり、今日のつながりを大切に今後の支援に活かしていきたいと思った。
○家族の方や、立ち場の違う方等、いろいろな方のお話がうかがえてよかったです。誰もが安心して生活できるまちづくりをしていきたいと思いました。
○いろいろな機会にお会いするたび、親密感が深まり、相談しやすくなります。
○お茶とおかしがあって話しやすい雰囲気でした。
○皆が自由に話せるふんいきがいい。
○ざっくばらんに話ができるので楽しかったです。
○また、精神の会を開いて下さい。
○続けてほしい。
○精神疾患をテーマにした意見交換は今まで自立支援協議会では無かったのでとても新鮮でした。また参加させて頂きたいです。

